平成２５年度

インターネットサービス基本計画

日本放送協会

平成２５年２月

目　次

はじめに ---------- ３

サービス実施の基本方針と重点目標 ---------- ４

各サービスの編集方針

第１部　放送法第２０条第２項第２号に

関する業務の基準に基づくサービス ---------- ７

１．安全・安心情報のいっそうの充実 ---------- ８

２．正確で迅速なニュース・報道情報の提供

地域からの情報発信の強化 ---------- １０

３．心と暮らしを豊かにする

NHK ならではの質の高いコンテンツの提供 ---------- １２

４．人と人とをつなぐ “公共情報空間”の提供 ---------- １４

５．放送と通信が連携した新しい視聴体験の提供 ---------- １５

第２部　緊急情報や外国人向け情報など、放送法第２０条第２項第２号

に関する業務の基準に基づくもの以外のサービス

---------- １６

はじめに

この基本計画は、ＮＨＫが受信料を財源として実施する、平成２５年度のインターネットサービスの内容を示すものです。

サービス実施の基本方針と重点目標

経済の長期低迷、少子高齢社会への突入、厳しい国家財政、多極化・複雑化する国際関係など日本社会そのものに大きな構造変化が起こっています。一方で、スポーツの分野では、日本人選手の活躍の場が広がり、冬季ソチオリンピックにも期待が高まっています。またファッションやサブカルチャーの分野では日本のコンテンツの発信力は依然世界をリードしています

通信・インターネットの世界では、第４世代の携帯電話通信網、スマートフォン、クラウドサービス、ソーシャルネットワークが急速に普及しています。スマートフォンからのアクセスはＮＨＫのインターネットサービスにおいても、２４年４月以降、従来型の携帯電話を超えるまでになっています。

こうした時代の中で、ＮＨＫは、インターネットサービスにおいても公共放送としての使命を果たしていきます。災害時の情報提供はもちろん、世の中の最新の動きに対して、正確な情報を迅速に送り届けます。また、人々の暮らし、文化の向上、教育・福祉等に役立つ情報を提供することで、経営計画に掲げた「豊かで安心、たしかな未来へ」の実現に貢献していきます。また、ホームページ、ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）を使った双方向サービスやＮＨＫネットクラブなどを活用し、人と人とのつながりを担う“公共情報空間”の構築にも寄与していきます。

テレビ６０年の節目を迎えて、新しいサービス「ハイブリッドキャスト」の開始を視野に入れ、データ放送とセカンドスクリーンなどが連携した新たな視聴体験を提供するコンテンツの開発にも取り組みます。

また、情報を一人でも多くの視聴者に送り届けられるよう、さまざまな端末で利用しやすくするとともに、外部サービスも一部活用し、視聴者がＮＨＫのコンテンツにいっそう接触しやすくしていきます。

さらに、放送局が行うインターネットサービスとして、テレビ・ラジオの視聴につながる回路であることを強く意識し、放送と通信を相互補完的に機能させることで、ＮＨＫの発信するさまざまな情報に接していただけるよう努めます。

２５年度は、５つのサービスの重点目標を掲げます。

１．安全・安心情報のいっそうの充実

暮らしの安全・安心にかかわる情報を、多様な伝送路でいつでもどこでも取得できるシステムを整備し、サービスを拡充するとともに、東日本大震災からの復興を支援する情報や、震災の教訓を伝えるコンテンツ、地域の防災情報を充実していきます。

２．正確で迅速なニュース・情報の提供、地域からの発信の強化

全国各地のニュース動画を提供し、地域からの情報発信をさらに強化します。コンテンツを充実するとともに、SNS なども活用し、幅広い層に発信していきます。また、地域発ドラマなど地方の活性化につながるコンテンツも強化していきます。

３．心と暮らしを豊かにする NHK ならではの質の高いコンテンツの提供

放送と連動して高い学習効果が得られる教育コンテンツや青少年向けコンテンツのいっそうの充実に努めます。さらに、学習履歴などを活用するシステムも導入し、視聴者の利便性を図っていきます。文化の継承、暮らしの充実、健康など、人々の心と暮らしを豊かにするコンテンツの提供に努めます。また、冬季ソチオリンピックなどスポーツイベントに関しても、データ放送と連動しながらより豊かなコンテンツを提供します。

４．人と人とをつなぐ “公共情報空間”の提供

双方向機能を生かして視聴者とともに社会の課題について議論する番組や、SNS を活用して情報や意見・感想を視聴者同士が分かち合う番組などを制作し、人々がともに学び・考え、共感しあえる場、いわば“公共情報空間”を構築していきます。また、インターネットを使った“人にやさしいサービス”に力を入れます。

５．放送と通信が連携した新しい視聴体験の提供

放送と通信を連携させた新しいサービス「ハイブリッドキャスト」のコンテンツ制作を始めます。スマートフォンやタブレット端末で番組内容のより詳細な情報を見たり、おすすめの動画を手軽に楽しんだりできる、さまざまなコンテンツを開発していきます。

インターネットサービスを実施するにあたり、ＮＨＫは以下のルールにのっとって行います。

１．法令および各種規定の順守

サービスの実施にあたっては、法令を順守するとともに、「国内番組基準」、「国際番組基準」、「ＮＨＫ放送ガイドライン」等の各種規定に準拠します。

２．放送番組との関連性の明示

「放送法第２０条第２項第２号の業務の基準」に基づいたサービスを提供するサイトでは、当該コンテンツが根拠とする放送番組を明示します。

３．サービスの確保と向上のための不断の取り組み

インターネットの利用環境が絶え間なく変化し、それに伴って変化しつづける利用者の要望に応え、安定したサービスをいつでも提供できるように、設備など必要な基盤を整備していきます。特に、首都圏直下型地震や首都圏大規模停電等が起きた場合でも、最低限のサービス提供は継続できるようなバックアップ機能整備等を進めます。また、サービスの技術的な品質は国民の大部分が利用可能であることを目安とします。

４．コスト管理の徹底と実施経費の公表

インターネットサービスの実施にあたっては、絶えず業務の改善に努め、経費を適正に把握し、コスト管理を徹底します。また、実施経費については、年度終了後に実績値を公表し、透明性の確保に努めます。

５．インターネットサービス提供の基本

インターネットコンテンツは以下のサービスで提供することを基本とします。

- パソコン、スマートフォン、タブレット端末向けサイト「ＮＨＫオンライン」
- 携帯電話向けサイト「ＮＨＫケータイ」
- 地上・ＢＳデジタル放送、ワンセグ放送のデータ放送を入り口とした
  インターネット接続サービス

第１部

放送法第２０条第２項第２号の

業務の基準に基づくサービス

１．安全・安心情報のいっそうの充実

【編集のポイント】

○暮らしの安全・安心情報を、多様な伝送路と端末で提供し、いつでもどこからでも取得できるようにし、国民の公共放送への信頼に応えます

国土交通省や自治体から提供される河川水位･雨量データを常時各放送局のデータ放送、ホームページに自動的に表示する仕組みを通じて、水害に備える情報を提供します。
また、台風・大雨や地震など災害時には、避難指示・勧告情報や開設避難所情報、交通情報などを各放送局がテレビやワンセグのデータ放送、パソコンやスマートフォン、携帯などさまざまな端末で迅速に提供できるシステムを整備し、防災情報のいっそうの充実に努めます。

○震災の記憶をアーカイブス化して伝えるコンテンツの制作、復興に向けた取り組み等を紹介・支援するコンテンツを強化します

（主なコンテンツ、サービス）

「明日へ　―支えあおう―」
被災地復興を願い、支援を行うため、ＮＨＫの震災関連番組やイベント情報、役立つ防災情報を掲載するサイトを充実させていきます。

「東日本大震災アーカイブス　証言Ｗｅｂドキュメント」
「東日本大震災」で被災した人々の証言を中心に、ＮＨＫが持つ震災にかかわる映像を公開し「あの時、何が起こり、人々はどう行動したのか」「復興支援と明日の防災のために何ができるか」を考えていきます。またコンテンツを学校や地域でも活用していただけるよう取り組みます。

「１００万人の花は咲く」
被災地の復興を応援するテーマソング「花は咲く」を視聴者の方に歌っていただき、その動画を紹介することで、全国各地のみなさんの心をつなぐ試みを行います。

○地域の防災につながる情報をきめ細かく伝えていきます

（主なコンテンツ、サービス）
「ＮＨＫそなえる防災」
防災についての疑問・質問に専門家が答えるQ&A、動画で学ぶコンテンツ、住んでいる街の危険箇所や防災に役立つ場所等を選んでオリジナルの防災マップを作るコンテンツなどで日頃の防災に役立つ知識や情報を伝えます。

「首都圏防災ナビ」（首都圏放送センター）
関東甲信越地方各放送局で放送した内容などをもとに、家庭で役立つ防災についての情報を、わかりやすく紹介していきます。

「北海道　防災・震災ポータルサイト」（札幌放送局）
北海道地方で放送した番組を題材に、津波など今後想定される災害の備えについて情報を提供していくとともに、意見を募集し番組とホームページで紹介することで災害について視聴者とともに考えていきます。

「週刊防マガ」（松山放送局）
防災の専門家とNHKが協力して、四国に暮らす人々に役立つ最新の防災の知恵を、毎週わかりやすく発信していきます。

２．正確で迅速なニュース・情報の提供、地域からの情報発信の強化

【編集のポイント】

○ニュース・情報の提供をいっそう充実させます

（主なコンテンツ、サービス）

「ＮＨＫ　ＮＥＷＳ　ＷＥＢ」

国民の関心の高い情報をインターネットでも速報するとともに、アクセスランキングなども紹介し、放送番組の「ＮＥＷＳ　ＷＥＢ」とも連携します。また、SNS も活用し、さまざまな手段で情報を届けます。

「スポーツオンライン」

デザインを工夫して、より情報にアクセスしやすくし、競技結果も充実させます。スポーツの感動をよりいっそう味わえるようにし、スポーツ番組への関心も高めます。

「クローズアップ現代」

放送開始２０年の蓄積を生かし、一つのテーマを現在と過去の放送でどう取り上げたかを比較し重層的に掘り下げる「ＷＥＢ特集」に力を入れます。ＳＮＳを活用し、視聴者と意見を交換するなど、多角的に最新の情報を紹介します。

○全国各地のニュース動画のインターネットでの提供を進め、地域からの情報発信をさらに強化します

（主なコンテンツ、サービス）

「各地のニュース」

各放送局のニュース動画の一部をインターネットでも提供し、地域の今を全国に向けて紹介し、地域の活性化につなげていきます。一部の地域では放送したニュースの掲載期間を１週間に延ばし、視聴者の利便性を高めます。

○地域の活性化につながるコンテンツをいっそう強化します

（主なコンテンツ、サービス）

「地域発ドラマ」（各放送局）

各放送局が制作する地域発ドラマと連動し、ロケ風景や撮影に協力していただいた地元の方々の紹介など、ドラマで描かれる地域の素晴らしさ、人々の温かさなどを全国の視聴者に向けてアピールしていきます。

「こころの都」（奈良放送局）

番組と連動して、奈良にゆかりのある著名人からのメッセージを紹介するとともに観光の豆知識を４か国語で掲載するなど地域振興に役立つコンテンツを充実させていきます。

「とてけろ」（山形放送局）

夕方のニュース番組あてに視聴者から寄せられた写真を、ホームページ上の地図に表示していくことで、“とっておきの山形”を視覚的に捉えた地図を作成していきます。

「ゴジだっちゃ！」（仙台放送局）

ラジオ番組「ゴジだっちゃ！」と連携し、県内各地の「だっちゃ通信員」から送られた情報やリスナーから寄せられた俳句･短歌などをホームページでも紹介していきます。

３．心と暮らしを豊かにするNHKならではの質の高いコンテンツの提供

【編集のポイント】

○番組と連動し、放送の前後あるいは視聴中に閲覧すると高い学習効果が得られる教育コンテンツや青少年向けコンテンツのいっそうの充実に努め、視聴者の「知りたい」「学びたい」という意欲・ニーズに応えます

（主なコンテンツ、サービス）

「ＮＨＫ語学番組」

番組で紹介したスキットをテキストや音声、動画で紹介し、テレビ、ラジオ番組とあわせて見ることで、基礎から会話までの語学学習を手助けしていきます。さらに、学習履歴などを活用できるシステムも導入し、より体系的に学べるようコンテンツの工夫を図っていきます。

「デザイン　あ」

視聴者から寄せられた「あ」のデザインを番組とホームページで紹介したり、マウスで描画した「あ」を音楽とともに表現するコンテンツなどで、子どもたちの「デザイン的思考」を育てていきます。

「スーパープレゼンテーション」

アメリカのＴＥＤカンファレンスで行われた、世界最先端の文化人、芸術家、科学者たちのプレゼンを、番組でとりあげた英語のキーフレーズとともに日本語の解説をつけて紹介します。

「ＮＨＫｆｏｒＳｃｈｏｏｌ」

学校放送番組と連動し、教科別、学年別に分かれた、動画やクイズなどによる豊富な学習コンテンツを教師、児童・生徒向けに提供します。

○文化・芸術の継承・発展、暮らしの充実、教養、健康など、人々の生活と心を豊かにするコンテンツを充実します

（主なコンテンツ、サービス）

「ＮＨＫデジタルアーカイブス」

「ＮＨＫ映像マップ　みちしる」「クリエイティブライブラリー」「戦争証言ライブラリー」などのサイトで提供しているデジタルアーカイブスコンテンツを横断的に利用できるようにし、社会教育や学校教育でより活用しやすくします。

「海～Ｏｃｅａｎ＆Ｐｌａｎｅｔ」

海をテーマにした番組素材を活用し、深海生物の生態が動画でわかるデジタル図鑑や、国立科学博物館で行われる「深海」展と連動したコンテンツなどで、海の生物について楽しく学びます。ＮＨＫスペシャル「深海」シリーズや、ＮＨＫオンデマンドで見ることができる海をテーマにした番組を紹介します。

「１００分ｄｅ名著」

番組で紹介した古今東西の名著について、番組講師によるコラムや紹介できなかった作者の名言集などのコンテンツで多角的に教養を深められるようなサービスを提供します。

「ＮＨＫ健康ホームページ」

「きょうの健康」などで放送した健康情報をデータベース化し、病名や症状などから、家庭で注意すべき点や治療法などを調べることができます。スマートフォンにも対応し、いつでも手軽に見られるようにします。

「ＣＯＯＬ　ＪＡＰＡＮ～発掘！かっこいいニッポン～」

日本語と英語の２か国語で、世界に向けて日本の文化や慣習を紹介するとともに、facebook でも日本についての情報を英語で発信していきます。

○冬季オリンピック・ソチ大会などスポーツイベントに関しても、データ放送と連動しながらより豊かなコンテンツを提供します。

（主なコンテンツ、サービス）

「２０１３ＮＨＫ杯フィギュア」

「ロードレースオンライン」

「２０１４ソチオリンピック」「２０１４ソチパラリンピック」ほか

４．人と人とをつなぐ “公共情報空間”の提供

【編集のポイント】

○双方向機能を生かして視聴者とともに社会の課題を議論する番組や、SNS を活用して情報や共感を視聴者同士が分かち合う番組などを制作し、社会の絆作りを支えます

（主なコンテンツ、サービス）

「ハートネット」

ＳＮＳやホームページの掲示板を利用した福祉関連情報の発信・共有などを通してインターネット上の新しい“公共情報空間”を作ります。また、「うつ」「発達障害」「自殺」など、テーマ別に整理した情報や視聴者から寄せられた意見を掲載することで人と人とをつないでいきます。

「グローバルディベートＷＩＳＤＯＭ」

世界と日本が抱える地球的な課題に対して、意見を寄せていただき、番組とホームページ・facebook とで紹介することで視聴者とともに解決策を探っていきます。

「私も一言！夕方ニュース」

放送中にリスナーから番組に寄せられた意見を、番組とホームページで紹介し、双方向での情報発信を行っていきます。

○最新の技術を応用して“人にやさしい”サービスを拡充します

（主なコンテンツ、サービス）

「ＮＨＫ手話ニュース」

Ｅテレで放送した１週間分の手話ニュースを動画でも提供し、繰り返し見られるようにすることで、聴覚障害者の方の利便性を高めます。

「手話ＣＧコンテンツ」

手話の動作をＣＧ（コンピュータ・グラフィックス）で再生することで、手話の習得につながるコンテンツの開発を目指します。

「ＮＥＷＳ　ＷＥＢ　ＥＡＳＹ」

ニュースを平易な文章に変換・提供するシステムを通じて、子どもや日本語に慣れていない外国人にもわかりやすく提供します。

5. 放送と通信が連携した新しい視聴体験の提供

【編集のポイント】

○放送と通信を連携させた新サービス「ハイブリッドキャスト」のコンテンツ制作を始めます。セカンドスクリーンやソーシャルネットワーク等も活用した新しい視聴体験を提供することを目指します。また、既存のデジタルテレビにおいても、データ放送のインターネット接続機能を利用したコンテンツや、高画質な動画の提供も行います

［コンテンツ・サービスレベル］

ＮＨＫのインターネットサービスで提供するコンテンツやサービスのレベルは、利用者の大部分が使用している環境で、円滑に利用できる水準を確保します。

第２部

緊急情報や外国人向け情報など、放送法第２０条第２項第２号に関する業務の基準に基づくもの以外のサービス

編 集 方 針

番組制作、番組の周知・宣伝、経営広報、営業活動、職員採用、調査研究等の業務に関連して行うインターネットサービスについては、それぞれの業務を効果的に実施するなどの目的に合ったコンテンツを制作・提供します。

番組制作やイベントでは、インターネットを活用して視聴者が参加する双方向の取り組みをいっそう進めます。また、「ＮＨＫネットクラブ」を通じて視聴者とのつながりを深める仕組みもさらに強化していきます。

番組の周知・宣伝については、番組の放送より前に行うことを基本とし、全体として放送番組の視聴につなげることを目的とします。経営広報については、公共放送の活動を広く理解していただくことを基本とし、テレビ６０年にあたり、過去のＮＨＫの活動を紹介します。営業活動と連動するコンテンツについては、その目的に照らして妥当な範囲・態様によってサービスを充実し、これまで以上に受信料制度への理解促進を図ります。また、ＮＨＫオンデマンドサービスについては、いっそうのＰＲに努め、利用拡大につなげます。

東日本大震災を踏まえ、災害・危機管理情報その他の緊急情報など、国民の生命、財産にかかわる情報については、公共放送の使命に応え、情報発信の仕組みをいっそう強化し、積極的に実施していきます。安否情報については、データ放送で提供するとともに、通信事業者等と共同でインターネットでも提供します。また、大災害時にＥテレで放送する生活情報を、パソコン、タブレット端末、携帯でも見られるようにし、きめ細かい情報をさまざまなツールで被災地域に届けます。選挙の情報についても、公平中立な立場から正確な情報を迅速に提供していきます。

国際放送の発信についてはさらに強化を図ります。ニュースを中心に情報性を高めるとともに、番組情報を充実させて、番組の視聴につながる取り組みを強化します。また、スマートフォンおよびテレビ向けアプリの開発・改善を進め、世界中でより簡単に「ＮＨＫワールドＴＶ」および「ＮＨＫワールド ラジオ日本」に接してもらえるようにします。

２３年度から試行を開始したインターネットラジオについては、新たに一部の地域放送も対象とし、放送コンテンツをさらに安定的に聴取者に届けるよう努めます。

放送と通信が連携した新しいサービス、ハイブリッドキャストについては、スマートフォン・タブレット端末・テレビ向けアプリなどを開発します。

[サービスレベル]

○ 利用者の大部分が使用している環境で、円滑に利用できる水準を確保します。